

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	マンガ制作2	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科	コース名	マンガコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	中山 蛙・あずみ 棕		実務経験の有無・職種	有・マンガ家	
学習目的					
この科目では、マンガ制作における技法や知識を、各制作工程のプロット・ネーム・下描き・ペン入れ・仕上げに合わせて習得を行っていきます。各工程において必ず講師又は教員がチェック行い、漫画業界の編集者と同じく形式と同様な流れを組むことによって、作品を作るだけでなく『仕事として制作を行う意識』も身に付けることを目的とする。					
到達目標					
この科目では、各授業でのレクチャーと、前期期間を通して制作を行う読切作品を元に、日本の漫画を作る上で基本となる技術と知識を身に付けることを主目標とします。この授業内での制作物はアナログでの制作を主として、デジタルとアナログ共に制作が行える人材を育成します。各提出物の期限や、読切作品の制作における各工程でのチェックを厳守することにより、作品制作を通して仕事としての感覚を身に付けることも目標とする。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、漫画制作において基礎となる考え方や技術を、1本の読切作品の制作を通して身に付けていく。読切作品以外にも、各授業で技術習得の為に小課題をアナログで制作することにより、多種多様な道具や環境においても作品を制作できる技術向上を養う。各課題は全て締め切りを設け、仕事としての感覚も身に付けていく。				
注意点	この授業では、アナログでの制作における基礎技術及び、アナログ表現の習得度を確認するために課題制作を実施するため、授業内ではしっかりと先生の話聞くだけでなく、必ずメモを取るよう指導を行う。前期期間を通して制作を行う読切作品を、各工程毎にチェックを行い、切や仕事としての意識を養うため、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。完成した作品は必ず持込み又は投稿を行う。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	70%	課題を総合的に評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	自己紹介マンガ制作①		自身の自己紹介をマンガで制作 プロット・ネームについて理解する		
2回	自己紹介マンガ制作②		自身の自己紹介をマンガで制作 下描きについて理解する		
3回	自己紹介マンガ制作③/前期制作①		制作した自己紹介マンガを受講者で講評を行う/前期制作10P漫画のプロット制作		
4回	キャラクター基礎①/前期制作②		表情のみでキャラクターの喜・怒・哀・驚を表現する/前期制作のプロット制作		
5回	キャラクター基礎②/前期制作③		頭身について理解する キャラクターに動きをつける/前期制作のネーム制作		
6回	キャラクター基礎③/前期制作④		年齢による顔・体系の変化を理解する/前期制作のネーム制作		
7回	ストーリー基礎/前期制作⑤		物語の構成『起承転結』について理解する/前期制作のネーム制作		
8回	演出基礎/前期制作⑥		コマ割の演出による視線誘導を理解する/前期制作の下描き制作		
9回	背景基礎①/前期制作⑦		遠景・中景・近景について理解する/前期制作の下描き制作		
10回	背景基礎②/前期制作⑧		1点透視・2点透視について理解する/前期制作の下描き制作		
11回	背景基礎③/前期制作⑨		自然物・流動体の表現について理解する/前期制作のペン入れ制作		
12回	ペントニック①/前期制作⑩		効果線について理解する/前期制作のペン入れ制作		
13回	ペントニック②/前期制作⑪		ペンタッチによる質感表現を理解する/前期制作のペン入れ制作		
14回	仕上げテクニック①/前期制作⑫		トーンによるモノクロのバランスを理解する/前期制作の仕上げ制作		
15回	仕上げテクニック②/前期制作⑬		ホワイトによるテクニック・修正方法を理解する/前期制作の完成		